

機械器具(11)放射線障害防護用器具  
 一般医療機器:放射線防護用前掛 JMDN:38355000  
 (放射線防護用胸部前掛 JMDN:38356000)、(放射線防護用患者向け眼鏡 JMDN:38361000)  
 (放射線防護用生殖腺防護具 JMDN:38367000)、(放射線防護用掛布 JMDN:38357000)  
 (放射線防護用カラーJMDN:38358000)、(放射線防護用帽子 JMDN:70041000)  
 (放射線防護用カーテン JMDN:38375000)、(放射線防護用術者向け眼鏡 JMDN:38884000)

## 放射線防護衣

### 【禁忌・禁止】

- ・本品は未滅菌です。
- ・放射線防護具に損傷、又はその恐れが認められる場合は使用しないこと。[正常な X 線遮へい性能がたもたれていない可能性があるため]
- ・蒸気滅菌禁止[熱により放射線防護具が著しく損傷するため]

### 【形状、構造および原理等】

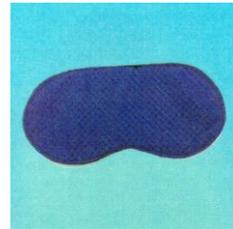
1. 材料  
 XENOLITE、ハイインパクトナイロン、低刺激性熱可塑性ゴム(TPR)、Corning Med-X レンズ
2. 形状 構成ユニット



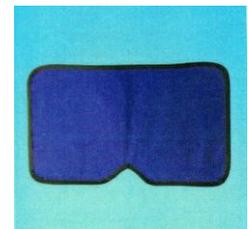
脚部ガード



足部ガード



アイマスク



胸部ガード



腹部ガード



局部ガード



防護カート



X線防護グラス



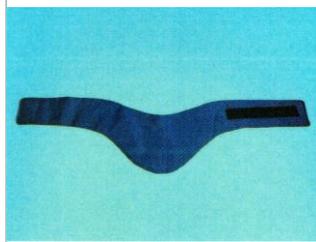
ベスト



スカート

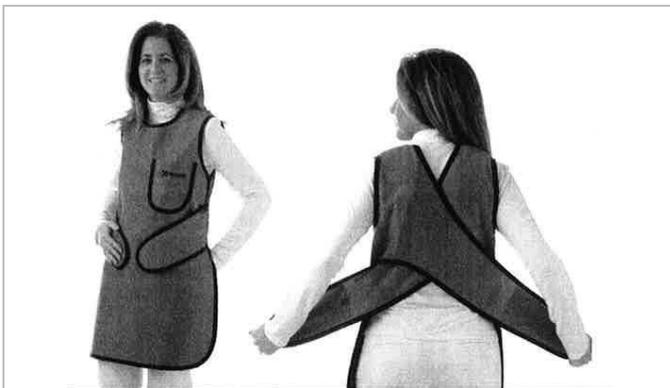


キャップ



ネックガード





### 【製品に対する苦情】

1. 製品の品質、安全性、信頼性、耐久性、効能または効果に関するお問い合わせは下記製造販売業者までご連絡ください。
2. この製品による、またはこの製品によると思われる患者の死または重篤な障害が発生した場合、直ちに下記製造販売業者へ電話または FAX 等によりご連絡ください。

### 【製造販売業者および製造業者】

製造販売業者

アクセスポイントテクノロジーズ株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-1-15 浅野ビル別館4F

Tel:03(3556)1621 FAX:03(5213)0171

製造業者

Access Point Medical Asia Corporation(フィリピン)

Lite Tech Inc.(アメリカ)

### 3. 原理

放射線防護材が放射線を減衰させ、不必要な放射線被曝から、患者、術者又は、他の人員の体を保護する防護用具である。

### 【使用方法】

#### 使用前

- ・保護したい体の箇所を覆うことのできる体のサイズに合う物を選ぶ。
- ・目視、触覚等による点検を行い、本品に破れ、ひび割れ、裂け目等がないことを確認し着用する。

#### 使用后

- ・本品を着脱後、目視、触覚等による点検を行い、本品に破れ、ひび割れ、裂け目等がないよう保管する。

### 【使用上の注意】

1. 使用前に必ず取扱説明書を熟読すること。
2. 一次放射線(直接線)の放射線被曝からの保護には使用しないこと。
3. 放射線防護材に損傷、又はその恐れのある場合は使用しないこと。
4. 破れや穴あき等損傷の原因となるため、硬いものや鋭利なもの、角部に接触させないこと。
5. 折り畳んだ本品の上に物を置かないこと。
6. 損傷の原因となるため、折り目を押さえつけたり、小さく複数回折り畳むなどしないこと。
7. ハンガーやスタンド等を使用して保管すること。
8. 消毒は、医療用消毒剤アルコールで清拭すること。ガス滅菌、蒸気滅菌、煮沸、クレゾール等は変質や早期劣化の恐れがあるので使用しないこと。

### 【貯蔵・保管方法および使用期限等】

1. 本製品を保管する際は、高温・多湿を避け、塵や埃の無い清潔な場所に保管すること。
2. 水濡れや直射日光は絶対に避けること。

### 【保守・点検に係る事項】

1. 医療機器の使用、保守管理責任者は使用者側にあります。
2. 使用者による日常点検  
日常の始業、終業時に目視、触覚等による点検を行うこと。  
放射線防護具に損傷している、又は損傷している恐れがある場合は使用を中止し、放射線透視、又は透過写真撮影による検査を行うこと。
3. 使用者による定期点検  
6ヶ月に1回以上の放射線透視又は、透過写真撮影による検査を行うこと。